

噴火への対策

Preparations for Volcanic Eruptions



噴火により深刻な影響が及ぶ範囲の住民や登山者などを避難させる対策が特に重要である。常時観測火山49火山について、火山周辺の自治体が関係機関などとともに火山防災協議会を設置し、噴火シナリオやハザードマップの作成、噴火警戒レベルの設定など、警戒避難体制の構築を行っている。また、砂防ダム設置などのハード対策も並行して実施することが重要である。

火山防災訓練の様子



砂防えん堤(砂防ダム)

火山泥流や土石流などをせき止めるダム



裾野市深良

導流堤

火山泥流や土石流などを安全な方向に導くための堤防の一種



富士宮市上井出